平成25年7月3日

各　位

会社名　株式会社　遠　藤　照　明
代表者名　代表取締役社長　遠 藤 良 三
コード番号　６９３２　大証 第1部
問合せ先　取締役
経営品質本部長　佐 川 武 志
ＴＥＬ　０６－６２６７－７０９５

無線コントロールシステム『Ｓｍａｒｔ ＬＥＤＺ（スマートレッズ）』の販売に関するお知らせ

当社は、“照明空間マネジメントシステム”という新たな考え方の「無線コントロールシステム『Ｓｍａｒｔ ＬＥＤＺ（スマートレッズ)』」を平成25年９月より発売開始しますので、お知らせいたします。

記

１．新製品の開発背景

当社は、経営理念として「『高付加価値空間創造企業』として、常に新たな価値創出に挑戦し社会に貢献する」、「ＬＥＤ照明事業を通して低炭素社会創造に貢献する」を掲げ、少ないエネルギーで光を供給し、最適な光環境を創出・提供すべく、ＬＥＤ照明事業を主軸に事業展開しています。これまで、業務用ＬＥＤ照明シリーズ「ＬＥＤＺ」を中心に販売し、そのエネルギー効率の高さに高い評価をいただいて参りました。

これから創出される最適な空間には、光の制御が重要となります。しかしながら、これまでの制御は、照明器具の施工時にあらかじめ調光区分（グルーピング）を設定する必要があり、その設定のもとで光を制御するといった大変不自由なものでした。そのため、運用スタート後に計画と異なった場合の変更が困難である、導入施設内でレイアウト変更があっても調光区分（グルーピング）を変更することが容易でない、等の課題を抱えていました。当社はこの課題解決に向けた方策を検討し、従来の調光システムとは全く異なる概念“照明空間マネジメントシステム”「無線コントロールシステム『Ｓｍａｒｔ ＬＥＤＺ（スマートレッズ)』」を開発、発売するに至りました。

２．新製品の特長

■ 従来の調光システムとは全く異なる概念“照明空間マネジメントシステム”

従来の調光システムは単純な制御にとどまるものでしたが、「無線コントロールシステム『Ｓｍａｒｔ ＬＥＤＺ（スマートレッズ)』」は、各業態のベネフィットに応じた光環境の最適化と同時に、省エネ・電気代削減を両立し、光のあり方・考え方を変革する画期的なシステムです。

このシステムに、当社だからこそ提案できる、160lm/W 直管形ＬＥＤ照明を代表とする世界トップクラスの高効率ＬＥＤ照明ならびに、各種空間への照明提案力により、さらに省エネ効果を高めるマネジメントが実現可能です。例えば、オフィスであれば社員が生き生きと働く快活な空間が、カフェやレストランではリラックスできる和やかな空間が、工場であれば安全で正確な作業環境が実現可能です。

具体的機能としては、以下が完備されており、この機能と個別制御・照明提案により、従来の調光システムとは全く異なる概念“照明空間マネジメントシステム”による光環境が自動的かつ最適に実現します。

1．時間経過とともに減衰する光源の明るさを一定に維持することで、明るさの無駄をなくす「初期照度補正機能」（従来光源は、調光制御により明るさを下げた分と同等に消費電力は下がりませんが、ＬＥＤは減光分以上の電力削減が実現可能です）
2．昼間の時間帯に自然光のあたるエリアではセンサー感知で照明を抑える「昼光利用」
3．夜間では過剰となりがちな明るさ制御や時間帯ごとのシーン設定
4．人がいない時に自動的に消える「照度／人感センサー」
5．その他、空間における必要な明るさ・場所・時間帯や年間スケジュール・特別日の設定

■ 最大2000台のＬＥＤ照明器具が個別制御可能

一般的な食品スーパーマーケット（約8700㎡）での照明器具台数は約１５００台程度となっています。「無線コントロールシステム『Ｓｍａｒｔ ＬＥＤＺ（スマートレッズ）』」は最大２０００台までを一括制御できるため、このような中規模空間の照明器具を１台のタブレットでコントロールすることが可能です。また、ＬＥＤ照明器具やＬＥＤ光源にワイヤレスモジュール（双方向無線信号モジュール）を一体化することで、従来の調光システム（有線信号方式）では不可能であった個別制御（ＬＥＤ照明器具１台ずつや、ランプ
１本ずつをそれぞれ個別に制御すること）を実現しています。

■ ワイヤレス（無線）制御であるため信号線工事が不要、導入コストの大幅削減が可能

ワイヤレス（無線）制御であるため信号線工事は不要です。信号線などの設備費を削減することができると同時に、短時間での工事が可能となるため、トータルコストが低減できます。これに「ＬＥＤＺ」の高い省エネ性能をあわせることで、さらに短期間でのイニシャルコスト償却が実現可能となります。

ワイヤレス（無線）制御により、以下のような設計作業・光環境の変革が可能となります。

1．従来の調光システムは、事前に調光区分（グルーピング・信号線の指示）を設定する必要があり、建築士や設備設計士の方々の設計段階における作業負荷が比較的大きかったといえますが、無線方式とすることで、設計段階の作業負荷を軽減し、施工後の検討・変更が可能となります。
2．施工後でも、オフィスや店舗のレイアウト変更・工場のライン組み換えにあわせ、自由自在にグルーピングを設定することができます。

■ 配線をそのまま活用、器具交換のみで導入できるため、既存空間への導入も容易

既存の配線をそのまま活用し、器具を「無線コントロールシステム『Ｓｍａｒｔ ＬＥＤＺ（スマートレッズ）』」に交換するだけで、調光システムを導入することが可能です。（※ゲートウェイならびに照度／人感センサーは別途必要）既存空間に導入する場合は、器具本体を『Ｓｍａｒｔ ＬＥＤＺ（スマートレッズ）』適合器具に取り替える方法と、既存器具本体を活用して従来ランプ部分を『Ｓｍａｒｔ ＬＥＤＺ（スマートレッズ）』ＬＥＤユニットに取り替える２種類の方法があります。

■ 従来の調光システムよりリーズナブルな価格で、ＬＥＤの無線調光システムが導入可能

「無線コントロールシステム『Ｓｍａｒｔ ＬＥＤＺ（スマートレッズ）』」は、従来の調光システムよりもリーズナブルな価格設定となっています。さらに、信号線工事が不要であるため、従来の調光システムよりもトータルコストが低減可能です。

■ タブレットなどモバイル機器から簡単操作、スマートフォンも対応

専用タッチパネル式タブレット型コントローラやスマートフォンなどのモバイル機器から、簡単な操作で制御することが可能です。それにより、壁スイッチや専用コントローラまで移動する手間を省くことができます。オフィスの場合には、スマートフォンで社員一人一人が自分のデスクから制御することもできます。また、ゲートウェイ自体はＬＡＮケーブル接続も可能であるため、無線の弱点とされてきた長距離や多層空間においても一括制御が可能です。

＜設定方法＞

照明設計図、照明器具配置を事前登録することで、現場での制御設定作業がスピーディーに対応できます。

・事前作業として、計画された照明器具配灯図を読み込むことが可能。
・事前作業として、読み込んだ図面上で、エリアグループ設定・照明器具のシンボル配置が可能。
・現場設定時、持ち運びができる専用タブレットやＷｉ－Ｆｉ機能搭載のノートＰＣにより、先に登録された図面上の照明シンボルと実際の照明器具を簡単に紐付けることが可能。（従来は別室での設定にて、実際の器具位置を確認することが負担でしたが、モバイル機器による設定のため、目で照明器具の位置・照度レベルを確認しながらの、正確でスムーズな設定が可能です）

＜設定後の操作方法＞

・スマートフォンや専用タブレットにて簡単な操作で利用が可能。

■ デマンド制御にて、照明はもちろん空調や冷蔵ケースも見える化・外部遠隔制御が可能

追加のオプションを設置することで、照明以外の空調や食品スーパーマーケットの冷蔵ケースなどの電力管理・制御（ピーク時の電力カット）が可能となります。また、１つの部屋からワンフロア・ビル全体までの集中管理が可能となり、商空間では、直営店からフランチャイズまでのトータル管理が可能となります。

■ オフィスビルの中央監視制御システムとの連動も可能

さらに省エネルギーに貢献すべく、ビルの各種エネルギー管理を可能とする中央監視制御システムと連動するインターフェイスも現在開発中です。

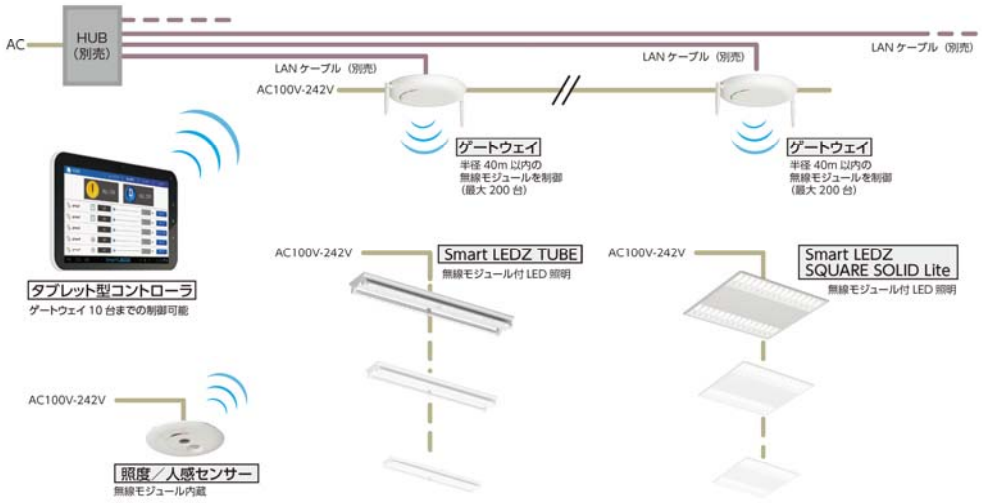
３．新製品の売上への影響

平成25年９月より発売の製品であり、現在のところ平成26年３月期通期の連結業績予想に変更はありません。業績予想について今後修正の必要性が生じた場合には、確定次第速やかに開示いたします。

以　上



システム構成図



Smart LEDZ SYSTEM



<タッチパネル式　タブレット型コントローラ>



<照度・人感センサー>



<ゲートウェイ>